

発達と保育

1 単元名「ともに生活する」

2 単元の目標

- (1) 乳幼児の発達を促すための保育の必要性と意義を理解し、保育の目標と指導の原理に基づく基本的な保育技術を身に付ける。
- (2) 家庭保育と集団保育について、それぞれの特徴や役割を理解する。

3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
保育の必要性と意義、指導の原理などに関心をもち、子どもの健全な成長を図ろうと意欲的に取り組んでいる。	子どもの健全な成長に関する諸問題の解決を目指して思考を深めている。 学習した知識と技術を活用して創意工夫する能力を身に付けている。	保育の目標と指導原理に基づく基本的な保育技術を身に付けている。 適切に乳幼児とかわることができ、それを通して得た成果を的確に表現することができる。	保育の必要性と意義、指導の原理を理解している。 家庭保育と集団保育について、それぞれの特徴や役割を理解している。

4 指導と評価の計画（全34時間）

学習内容	時間	具体的な評価規準	学習活動 評価方法	関心	思考	技能	知識
1 保育の必要性と意義 ・ 保育とは ・ 人間形成と保育 ・ 保育の目標	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の保育をめぐる問題を取り上げ、高校生として保育を学ぶ意義を理解できる。 ・ 保育とは適切に保護しながら教育的にかかわることであり、子ども自身の成長・発達を援助、養護する必要性を理解できる。 	新聞から現在の保育の問題点調査 レポート ワークシート				
2 指導の原理 ・ 乳幼児にふさわしい生活の展開 ・ 遊びを通して行う保育 ・ 環境を通して行う保育 ・ 一人一人に応じる指導	14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心身の発達に応じた指導方法や、子どもの心を引きつける環境作りなどを学習し、具体的な保育の原理を実際の活動や製作に生かすことができる。 	手遊び、読み聞かせ、運動遊びなどの活動 行動観察 子どもの成長発達にあった児童文化財や遊具製作 ワークシート 作品 自己評価シート				

<p>3 保育者の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者の役割とは 【本時】 ・ 保育者の役割を支えるもの ・ 指導の実際 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者は乳幼児の発達過程を見通し、また、活動の場面や個々の乳幼児に応じて様々な役割があることを理解できる。 	<p>心理劇 行動観察 ワークシート 自己評価シート</p>				
<p>4 家庭保育と集団保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭保育 ・ 集団保育 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の場としての家庭保育と集団保育があることを知り、それぞれの特徴や役割を学び、子どもの成長発達には両方が必要であることを理解できる。 ・ 幼稚園と保育所・その他の施設との違いを学び、集団保育の課題について理解できる。 ・ 集団保育の実習を通して、乳幼児の生活や行動などを観察し、適切なかかわり方の習得に意欲的に取り組む。 	<p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p> <p>保育体験実習 レポート</p>				